

名寄産業高校

進路だより

北海道名寄産業高等学校
進路指導部
No.1

保護者の皆様へ

今年度も、「家庭と学校の進路指導における共通理解を図ることを目的」として、「進路指導部より『進路だより』の発行を実施していきます。

「本校の進路状況」や「本校の進路活動」「進路指導にあたっての留意事項」等を、定期的にお知らせしてまいります。

進路活動全般において、お子様の取り組みや学校側のサポートはもちろんです。が、「家庭での話し合いや保護者の皆様の支えが」とても重要で、この進路だよりが保護者の皆様の参考になれば幸いです。

高校での進路決定は、「就職」「進学」を決定するということにはもちろん、「幸せな人生を歩んでいくために、自分は何を大切にしていけるか」を考え、大変重要な時期とも言えます。保護者の皆様におかれましては、お子様の進路活動にこれまで以上のお力添えをお願いいたします。

進路指導部メンバー

今年度の進路指導部は次の四名体制となります。何かありましたら気軽に「ご連絡ください。」*は進路室常駐)

- *部長 谷口 貴章
- 部員 中嶋 孝之
- (機械・建築システム科学科長)
- *部員 小澤 さと美(三生担任)
- 部員 阿部 靖 杜(二階担任)

生徒の皆さんへ

進路相談室には企業や、大学・短大、専門学校から多くの「お客様」が訪れます。皆さんの挨拶や身だしなみが学校の印象に大きな影響を与えます。普段から礼儀やマナーをしっかり守って学校生活を送りましょう。

進路相談室にある就職、進学関係の資料は、誰でも自由に閲覧できます。また、求人票検索や進学先を調べる際にパソコンを利用する場合は許可を得てから利用してください。

進路室は、職員室と同じです。身だしなみを整えて入室しましょう。お客様が数多くいらっしゃいます、廊下や教室へ騒ぐのはおやめください。

進路希望調査について

進路希望調査は、一年間で、三年生は一回、二年生は三回実施します。担任の先生を始め全職員で共有し、みなさんの進路実現をサポートするための参考データとします。また、進路について保護者の方と定期的に話し合いを持つための機会になればと考えています。高卒の進路は、「進学」「就職」という以外にも金銭的な問題が発生します。そのため希望通りという訳にはいかない場合も多々ありますので、普段から保護者に自分の考えや希望を伝えておくことが大切です。調査用紙には「保護者の同意があるか」という項目を設けています。必ず保護者と話し合いを行った上で進路希望調査に臨みましょう。

今年度、第一回目の調査を、二・三年生対象に四月二日に実施しました。高校卒業後は就職にするのか・進学にするのか非常に重要な選択となります。就職希望ならどんな仕事をしたいのか? 職種は? 希望地は? など、進学希望ならば、学科は? どんな勉強をしたいか? など、決める事が多くなります。この機会に将来について真剣に考えてみましょう。進路希望調査の結果を参考に進路指導を行います。

一年生は、より具体的に!

「まだ、二年生だから」と考えていませんか。今年一年は、具体的に自分の進路希望先を決定する一年にしましょう。二年生の終わりには三者面談で進路先を決定します。ということは、三年生になってから決めるのでは遅いということです。どのような職種でどんな会社で働きたいか、どの学校・学科で何を学びたいかを考えましょう。早い段階でより具体的に決めておく、余裕を持って進路活動に臨むことが出来ます。この一年をどう過ごすかが大切です。何をすべきか考えながら有意義な高校生活二年目にしましょう。

三年生は、決断を!

三者面談で、担任の先生と保護者の方と話し合えたと思います。今後、迷いや悩んでいることがあれば、担任の先生や進路の先生に遠慮なく相談をしてください。

就職希望者は...

何となくではなく、この地域で働きたい・この職業に就きたい・こんな仕事がいきたい、など、できるだけ希望を具体的にしていきましょう。まさか、「両親や先生にこの就職をささげと言われたので決めました」なんていうお話を聞かせないでね...

進学希望者は...

どの学校で何を学び、卒業後はどんな仕事に就きたいか、しっかりと将来を見据えて進学先を決定しましょう。安易な理由で選んではもったいないです。目標を持って進学先を選択しましょう。

また、進学には多額の費用がかかります。学費や生活費などいくらかかるかしっかりと調べて、保護者の方と納得いくまで話し合っておきましょう。

四月の進路行事

- 二日 進路希望調査(二年・三年)
- 七日 インターシップ(希望調査)(二年)
- 九日 履歴書カイクラス(三年)
- 二三日 進路・奨学金保護者説明会
- 二四日 公務員模試・一般常識テスト